

# 表彰

平成30年7月12日付け

## 賞与

### 火災原因調査

中央消防署 2部南阪町救助隊

消防司令補 高橋 剛

消防司令補 山莊 慎也

消防士長 (現・北消防署) 船越 将人

消防士長 赤木 真

中央区の電柱の通信線の設置線から出火した火災において、漏電による出火が疑われたが、迷走電流となった漏電箇所の特定は非常に困難な状況下、付近には木造建築物が密集し、外国人観光客を含む不特定多数の者が往来し、再度火災が発生すれば、大規模な災害に発展しかねないことから、消防、電力会社及び通信会社の3者で緊密に情報交換を行い実況見分を重ねた結果、発生場所から1街区離れた電柱において、施工不良によ

り絶縁被覆が劣化している低圧引込線と支持線が接触し大地へ漏電していたことを特定した。さらに、電力会社へ再発防止対策を策定する要望書を提出し、同様の施工不良とならないよう施工時の重点項目として徹底させることを了承させたことなど、類似火災の防止に寄与した功績による。

### 救急活動

此花消防署 1部此花第1救急隊

消防司令 中西 太

消防士長 森下 康幸

(現・浪速消防署) 浜川なおき

消防士長 (現・救急部救急課)

平成30年1月12日、此花区の一般住宅で発生した救急事案において、居室内で心肺停止の傷病者を確認するとともに、直ちに胸骨圧迫を行い、BVMによる人工呼吸及び除細動器による除細動を行った。さらに、気管挿管、薬剤投与、除細動を行い、救急搬送中に自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。病院到着時には、体動も認められ、呼吸及び脈拍も回復した状態で医師に引き継ぐなど、

迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

### 救急活動

平野消防署 2部喜連救急隊

消防司令補 高森 康成

消防士長 山本 尚也

消防士長 原 信一郎

平成30年2月2日、平野区の一般住宅で発生した救急事案において、台所床上で心肺停止の傷病者を確認するとともに、狭隘な台所から居室内へ搬送し、直ちにBVMによる人工呼吸及び胸骨圧迫、薬剤投与を行い、狭隘な廊下を気道確保、静脈路確保に細心の注意を払いながら救命連携活動隊と協力して車内収容、搬送を開始し早期に医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

2部港小型タンク小隊

消防司令補 阪口 隆司

消防士長 藤井 良太

消防士 島本 一

消防士 荒木 岳士

(現・西淀川消防署)

平成30年2月7日、港区の共同住宅で発生した救急事案において、母親により胸骨圧迫が行われている傷病者に対して、救命連携活動隊にBVMによる人工呼吸及び胸骨圧迫を速やかに指示するとともに、母親から事故概要を聴取、静脈路確保し、除細動器による除細動を行い、現場において自発呼吸及び自己心拍の再開を確認した。搬出において狭隘な廊下を救命連携活動隊と協力して速やかに車内収容、搬送を開始して医師に引き継ぐなど、迅速かつ的確に救命処置を実施した功績による。

### 救急活動

港消防署 2部港救急隊

消防司令補 藤原 義弘

消防士長 黒木 宣孝

消防士長 田村 昌平

### 救急活動

東淀川消防署 2部井高野小型タンク小隊

消防司令 武田 勝

(現・天王寺消防署)

消防司令補 小山 大吾